

学校給食費 無償化について等



市民クラブ
やまや ひとし
議員
山谷 仁

【問】 学校給食を教育の一環として捉え、また、児童生徒が同じ給食を食べ、分け隔てのない学校生活を送れるよう、多くの自治体が子ども・子育て支援の一環として無償化に踏み切っている。本市も小中学生の学校給食費を無償化すべきでは。

【答】 学校給食に要する経費のうち食材料費は、保護者に負担していただくことが適切であると考えています。

【問】 中学生からの無償化の考えは。

【答】 中学生からという部分的な無償化も、同じく多額な財源が必要となることから、困難と考えています。

【問】 自治会長へ市から役員手当を支給する予定は。

【答】 役員手当の支給は、自治会により、世帯規模や運営体制、これまでの経緯が異なるため、市として一律の支給は考えていません。



市内小学校の給食風景

【問】 教育委員会として部活動に所属しないことを認め、その方針を示していく考えは。

【答】 これまで同様、部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであることを校長会議で確認します。

【問】 中学校部活動の原則全員所属に、PTAや中学校の生徒会、教員間で十分な議論を進めていく考えは。

【答】 校外での活動を優先する生徒に購入を強要し、部活動の在り方を各校に示していきます。

【問】 所属だけの生徒のユニフォーム等の購入の強要は改善すべきでは。

【答】 校外での活動を優先する生徒に購入を強要している実態は捉えていません。

中学校の部活動の強制加入について



会派に属さない議員
ふじわら おさむ
議員
藤原 治

【問】 食料自給率の引き上げの取り組みは。

【答】 食料自給率の低下の大きな要因として、食生活の変化、TPPやEPAの発効による関税の撤廃、農家や農地の減少による農業生産力の低下などが挙げられます。

【問】 家族農業経営を核とした施策は。

【答】 市も家族農業をはじめ、大規模農業や法人新規就農者などさまざまな経営形態により持続的に農業を継続できるように支援します。

【問】 食料自給率の引き上げの取り組みは。

【答】 食料自給率の向上は食の安全確保や安定供給につながることから、市も地産地消の促進、地域の担い手の育成・確保などを進めます。

【問】 食料自給率の引き上げの取り組みは。

【答】 食料自給率の向上は食の安全確保や安定供給につながることから、市も地産地消の促進、地域の担い手の育成・確保などを進めます。



加齢性難聴者の補聴器購入への支援について等



日本共産党
なかた たかゆき
議員
仲田 孝行

【問】 加齢性難聴者への補聴器購入の支援を行う自治体が増えており、県内では5市1村が実施している。この現況の本市の捉え方は。

【答】 聴力機能の維持は日常生活の向上や認知機能の低下予防につながるため、現時点では市単独での支援は考えていません。

【問】 難聴を補聴器で克服し、生きがいある生活を営めるよう、補聴器購入の支援の考えは。

【答】 聴力機能の維持は日常生活の向上や認知機能の低下予防につながるため、現時点では市単独での支援は考えていません。

【問】 畜産農家の牛糞利用のプラント設立で、完熟有機肥料を作れば農家にとって有益では。

【答】 現在は個々で堆肥舎を管理し、自家完結で堆肥は利用されています。



災害に強いまちづくりの醸成について等



会派に属さない議員
おくつ かずとし
議員
奥津 一俊

【問】 大規模災害時の道路啓開のため、滝沢市建設業協会などと地域別に協力協定を締結しては。

【答】 現在の協定では具体的な地域指定などは明確化されておらず、地域を支えるパートナーとして市内業者の振興と発展を図ること、そのための仕組みづくりを進める必要があると考えています。

【問】 災害時に必要な物資の備蓄を行うとともに、住民、事業所への物資の

【答】 専門業者による確認や助言などを踏まえ、緊急修繕や計画的な修繕な



川前自治会防災備蓄倉庫

【問】 職員などによる目視点検のみでは予防保全型維持管理に対応したメンテナンスサイクルの実施は困難では。

【答】 専門業者による確認や助言などを踏まえ、緊急修繕や計画的な修繕な

【問】 職員などによる目視点検のみでは予防保全型維持管理に対応したメンテナンスサイクルの実施は困難では。

【答】 専門業者による確認や助言などを踏まえ、緊急修繕や計画的な修繕な

農業政策について



日本共産党
かわぐち きよゆき
議員
川口 清之

【問】 食料自給率の引き上げの取り組みは。

【答】 食料自給率の低下の大きな要因として、食生活の変化、TPPやEPAの発効による関税の撤廃、農家や農地の減少による農業生産力の低下などが挙げられます。

【問】 家族農業経営を核とした施策は。

【答】 市も家族農業をはじめ、大規模農業や法人新規就農者などさまざまな経営形態により持続的に農業を継続できるように支援します。

【問】 食料自給率の引き上げの取り組みは。

【答】 食料自給率の向上は食の安全確保や安定供給につながることから、市も地産地消の促進、地域の担い手の育成・確保などを進めます。

【問】 食料自給率の引き上げの取り組みは。

【答】 食料自給率の向上は食の安全確保や安定供給につながることから、市も地産地消の促進、地域の担い手の育成・確保などを進めます。



ふるさと納税と住民自治について等



会派に属さない議員
みの ふくお
議員
菅野 福雄

【問】 ふるさと納税の増収策は、市民に助け合いの文化を構築するうえで有効であり、住民自治に必要では。

【答】 全国から通常のふるさと納税と比較して返礼品を求めない純粋にチャグチャグ馬コを応援したい、地域に貢献したいという寄付をいただきました。このような純粋な気持ちの積み重ねが、住民自治の推進、つながりと支えあいの地域社会

【問】 全国から通常のふるさと納税と比較して返礼品を求めない純粋にチャグチャグ馬コを応援したい、地域に貢献したいという寄付をいただきました。このような純粋な気持ちの積み重ねが、住民自治の推進、つながりと支えあいの地域社会

【問】 全国から通常のふるさと納税と比較して返礼品を求めない純粋にチャグチャグ馬コを応援したい、地域に貢献したいという寄付をいただきました。このような純粋な気持ちの積み重ねが、住民自治の推進、つながりと支えあいの地域社会

【問】 全国から通常のふるさと納税と比較して返礼品を求めない純粋にチャグチャグ馬コを応援したい、地域に貢献したいという寄付をいただきました。このような純粋な気持ちの積み重ねが、住民自治の推進、つながりと支えあいの地域社会

【問】 全国から通常のふるさと納税と比較して返礼品を求めない純粋にチャグチャグ馬コを応援したい、地域に貢献したいという寄付をいただきました。このような純粋な気持ちの積み重ねが、住民自治の推進、つながりと支えあいの地域社会



ふるさと納税返礼品の一例

ふるさと納税推進策はチャグチャグ馬コ保護・継承などのため利用され、市民に助け合いの文化を構築する等、住民自治の推進につながるものと考えました。

「政経」の「市会」

馬事文化の維持と継承について等



滝政会 ひなた せいいち
日向 清一 議員

問 チャグチャグ馬コの維持と継承には担い手の確保が重要と捉えているが、市の考えは。

答 毎年の行事に併せて準備することは大変な苦勞があるものと考えています。チャグチャグ馬コ保存会では今年度、進行行事出馬手当の引き上げを行い、経済的な負担の軽減を図る取り組みを行っています。



▲6年チャグチャグ馬コ行進行事

問 共同馬主の取り組みや預託施設の検討により飼育増頭が図れるのでは。

答 市内農用馬の飼養頭数は横這いで推移しており、増やす取り組みとして共同馬主制度や預託施設

議員からひとこと

今年度は7頭の初出馬もあり喜ばしいことですが、馬事文化継承のためには、さまざまな支援が必要とのご意見が多くあります。

設の在り方を含め調査研究が必要と考えています。

市内事業者に対する助成措置について等



自由民主クラブ むらき かおり
村木 香織 議員

問 市独自の利子補給を行う考えは。

答 現在は、独自の利子補給の実施は考えていませんが、物価・エネルギー価格の高騰が続いていることから、影響を受けている事業者へ給付金を支給する取り組みを4年度から実施しています。

問 チャグチャグ馬コの開催日を日曜日に移行する考えは。

答 チャグチャグ馬コの更なる盛り上がりを図るために、開催日のあり方などを含め、今後もより盛り上がる方法を検討していくことは必要と考えています。

議員からひとこと

本市の地域経済を支える個人事業主・中小企業事業者に対しては事業継続を最優先課題としながらも、独自の経済支援策を講じる必要があるのではと考えました。



高齢社会について



公明党 おだ しずみ
小田島 清美 議員

問 身寄りがない高齢者に代わって登録情報を伝える終活情報登録伝達事業などの体制構築、早期からの身元保証に関する周知活動に取り組む考えは。

答 一部自治体で実施されている終活情報登録伝達事業などの体制構築や身元保証などに関する相談対応は、終活支援事業の一環として実施している事業と認識しています。今後、終活支援方法を



議員からひとこと

高齢者が単独世帯になっても、その後の生活支援、葬儀、死後の財産処分など第三者に頼ることができ、亡くなくても尊厳が守られる社会の構築をめざすべきと考えました。

検討する中で終活情報登録の必要性を検討します。

学校給食センターについて



自由民主クラブ あんべ りえ
安部 理絵 議員

問 「滝沢市公共施設等総合管理計画」個別施設計画第一期に示す改築想定年の見直しや変更は。

答 築40年が経過していますが、躯体など建物は計画的に補修修繕しており、現状では見直しや変更はありません。

問 人口減少による広域連携を見据えて、盛岡市と共同でセンターを建設する考えは。

答 想定していません。



▲市学校給食センター

問 弁護士による学校給食費の督促手続きを本市でも行う考えは。

答 裁判所への支払督促の申し立ては、平成15年度から行っていますが、28年度以降申し立てには至っていません。

議員からひとこと

築40年の学校給食センターは、外壁塗装も剥がれています。また、将来の人口減少や少子化を見据え、広域連携の必要があると考えます。

学校活動での服装のあり方について等



自由民主クラブ かぎもと けい
鍵本 桂 議員

問 制服を無くす議論ではなく、リユース品の活用や限定的に白ポロシャツと黒チノパンの私服許可、また卒業生からの制服の寄与、学校保管にて生徒へ貸し出し着用させる等、ほかの選択肢も可能にすべきでは。

答 今後、PTAを通じて、卒業生の制服寄与の積極的な呼びかけや、小学校のバザー出品を呼びかける等、保護者負担を軽減する方策を、学校や



議員からひとこと

保護者と生徒から制服や運動着の着用義務の柔軟な対応を求める声が寄せられ、生徒が学びやすい環境を提供するのが大人の役目でありみんなの議論が必要だから。

PTAと検討します。

「議員と話そう」開催のお知らせ

広聴常任委員会では、今後、市内のイベント等に合わせ、私たち市議会議員が市民のみなさんの声をお聞かせいただく「議員と話そう」のブースを開設することとしました。その第1回目の開催をお知らせします。

日時▶8月24日(土)・25日(日)
場所▶滝祭会場(ビッグルーフ滝沢)

多くのみなさんのお立ち寄りをお待ちしています

